

# WCN2017 第23回世界神経学会議

# Patients Awareness Day

# Program

—患者さんとともに神経疾患を考える—



WCN  
2017

日時	2017年9月16日(土) 14:00~16:05 (開場13:30)
定員	600名
場所	国立京都国際会館 アネックスホール1 (京都市左京区宝ヶ池)
主催	第23回世界神経学会議組織委員会、一般社団法人日本神経学会
共同主催	日本学会議
後援	厚生労働省、一般社団法人京都府医師会
テーマ	<b>脳、神経そして骨格筋の病気を治す!</b> —患者の声、最先端の治療、行政からのサポート—
司会	水澤 英洋 (国立精神・神経医療研究センター 理事長) 高橋 良輔 (京都大学病院神経内科 教授)

**参加費 無料**  
事前参加登録不要

当日直接会場にお越しください

プログラム

- 14:00 開会の辞：第23回世界神経学会議 会長 水澤 英洋
- 14:05 歓迎の挨拶：世界神経学連合 会長 Raad Shakir
- 14:10 患者の言葉1：日本パーキンソン病友の会 代表 中村 博
- 14:30 患者の言葉2：世界パーキンソン病連合 代表 エリザベス・ポラード
- 14:50 講演1：「パーキンソン病など神経疾患の遺伝子治療はもう現実」  
自治医科大学病院神経内科 特命教授 村松 慎一
- 15:10 患者の言葉3：遠位型ミオパチーの患者会(PADM) 代表 織田 友理子
- 15:25 講演2：「空胞性遠位型ミオパチーのシアル酸治験」 東北大学病院神経内科 教授 青木 正志
- 15:45 行政からの支援：「日本の難病対策の発展」 厚生労働省健康局難病対策課 課長補佐 徳本 史郎
- 16:00 閉会の辞：第23回世界神経学会議 事務総長 高橋 良輔